

2026 年 9 月 14 日
日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2026 年 9 月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに回復している。

最終需要面をみると、個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。観光は増加している。住宅投資は減少傾向にある。公共投資は回復している。設備投資は製造業を中心に増加している。

生産は増加している。雇用・所得環境は改善している。消費者物価指数の前年比は 1% 台半ばとなった。

先行きについては、企業の人手不足感の強まりと賃金・価格設定行動、金利上昇に伴う企業・家計の動向のほか、中東情勢の展開が金融為替市場や当地の経済・物価に及ぼす影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町 32 番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<https://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。財消費、サービス消費ともに、緩やかに回復している。

7月の商業動態統計は、前年を上回った。8月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、増加している。

7月の主要ホテル・旅館宿泊者数は、前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回った。

住宅投資は、減少傾向にある。

7月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

公共投資は、回復している。

7月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、製造業を中心に増加している。

2026年度の設備投資（2026年6月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

7月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

2. 生産

生産は、増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは、増加している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、弱めの動きとなっている。造船は、増加している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

7月の有効求人倍率は、1.01倍となった。6月の雇用者所得は、前年を上回った。

4. 物価

7月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）の前年比は、1%台半ばとなった。

5. 金融

7月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

8月の県内企業倒産(負債総額 10 百万円以上)は、件数は前年を下回った一方、負債総額は前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2026 年 7 月公表分）	今回（2026 年 9 月公表分）
景気全体 （据え置き）	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
個人消費 （据え置き）	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。
観光 （据え置き）	増加している。	増加している。
住宅投資 （引き下げ） （11 か月ぶり）	弱めの動きとなっている。	<u>減少傾向にある。</u>
公共投資 （据え置き）	回復している。	回復している。
設備投資 （据え置き）	製造業を中心に増加している。	製造業を中心に増加している。
生産 （据え置き）	増加している。	増加している。
雇用・所得 （据え置き）	改善している。	改善している。

（注）下線は、前回からの変更・追加。